

広報

みなみいす 4

2017

4

No.562



きらきら笑顔
輝け未来！

—南崎認定こども園 園外保育—

3月定例町議会

平成29年南伊豆町議会3月定例会が2月27日から3月16日まで開催され、「南伊豆町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について」などが原案どおり可決されました。

行政報告（要旨）

（仮称）南伊豆町健康福祉センターの整備状況

2月23日の指名競争入札をもって、以下事業者と仮契約を締結いたしました。
名称 河津・長田特定建設工事共同企業体

所在地 静岡県下田市中411番地の1

【施設の概要】

所在地 南伊豆町加納790番地

敷地面積 2,459.15m²

構造 R C構造：地上2階建

建築面積 677.69m²

延床面積 947.84m²

施設構成 南伊豆町地域包括支援センター及び南伊豆町社会福祉協議会の事務スペース、多目的スペース、調理室等

当該施設は、町民の健康増進と福祉サービスの向上に資する施設として、乳幼児から高齢者まで多くの町民が利用することを想定し、健康、福祉、子育て支援の拠点施設としての機能を有します。また、自治体間連携による特別養護老人ホームと隣接して整備することにより、相互の交流、地域包括ケアシステム構築拠点となる施設です。

これから、平成30年1月末の竣工に向けて、早期整備に邁進してまいります。

地熱資源利活用の取組み

1月24日、静岡県庁において、平

成28年度第3回静岡県環境審議会温泉部会が開催され、地熱資源調査井掘削許可申請にかかる審議が行なわれました。

本資源調査においては、専門的な知見を有する方々からも「地層がある程度斜めに掘り抜くことが望ましい」とのご意見等も伺っていたなか、同温泉部会からは、「斜め掘りのため、不許可が適当である」とする審議結果をいただいたところですが、一方で、同委員会委員から「本事業は、エネルギー調査のための採掘であり公益性が高い、このような案件が今後増えてくることも予想されることから、県保護要綱のあり方自体も考え直すべき時期だ」とするご意見なども示されました。

今回の審議結果を踏まえ、静岡県温泉保護対策要綱に抵触することなく、効率的な調査が可能な工法等を精査しながら、本年7月の同審議会に向けて再申請の準備を進めるとともに、年度内での掘削調査の実施に向けて鋭意取組んでまいります。

石廊崎オーシャンパークの整備状況

石廊崎オーシャンパークについては、石廊崎漁港からの遊歩道防災工事が完了し、同年11月から県道下田石廊松崎線からの進入路約400m分の道路整備工事、同年12月には旧温室3棟の解体工事にも着手するなど急ピッチで事業が進展しており、100台規模の駐車場の整備等、平成30年

度中の完成に向けて着実な事業の推進に努めているところです。

情報ネットワーク整備の進捗状況

町内62及び一部63局電話回線エリアにおける光ファイバ網整備事業の進捗率は、1月末現在で97.6%となっております。

今後も、通信事業者との連携をもって光ブロードバンドの有効活用を推進し、全町全域における早期整備に向けて取組んでまいります。

健康創造型生涯活躍のまちプロジェクトの推進

1 移住・定住事業

昨年の7月、11月及び本年1月には、杉並区役所を会場に「お試し移住説明会」及び「お試し移住相談窓口」を開催し、延べ250人の方々にご参加をいただきました。

借上げ住宅4物件による「お試し移住」事業においては、これまで8世帯17人の利用者があり、現在も4世帯7人の方が町内各所に滞在しております。

2 共立湊病院跡地の整備方針

現在、共立湊病院跡地及び隣接する杉並区有地を一体的に活用し、「学び・遊び・繋がる」をキーワードに「大学」に見立てた交流拠点整備推進に向けた計画策定に取組んでおります。

当該事業にかかる用地確保に向けては、一部事務組合下田メディカル

センター2月定例会において、旧病院建物解体工事設計業務委託料を含む平成29年度当初予算案が可決・成立したことから、同土地売買、仮契約の締結に向けて準備を進めてまいります。

3 地方創生関連事業

2月15日、湯けむりホールにおいて「南伊豆を未来へつなぐ森里川海プロジェクト」の始動に先駆け、キックオフ・フォーラムが開催され、一般社団法人 低炭素社会創出促進協会代表理事 吉澤保幸氏による基調講演や、環境省自然環境局 岡野隆宏氏による国民運動「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」の講演のほか、子どもたち、若者たち、事業者の方々を交えたトークセッション等が行われました。

また、2月24日には「地域創生シンポジウム」が開催され、東京大学名誉教授 大森彌先生による基調講演「南伊豆から考える地域創生」のほか、横浜国立大学院教授 大原一興氏、明治大学教授 牛山久仁彦氏、社会福祉法人梓友会理事長 川島優幸氏、杉並区保健福祉部長 田中哲氏による講演及び対談を拝聴いたしました。

1市2町によるごみ処理の広域化

本町では、供用開始以来25年が経過し、耐用年数を超えた既存施設の運営を民間事業者に包括委託し、施設の延命管理に努めてまいりました。

自治体による廃棄物処理業務においては、今後、老朽化した焼却施設の更新等莫大な経費を要すため、同様の課題を共有する下田市・松崎町・南伊豆町の枠組みをもって「ごみ処理施設の広域化」に向けた取組みを進めています。

当該施設の整備予定地となる本町においては、近代的な施設整備と焼却技術の高度化、生活環境の保全に即した安全基準の確保、現在地整備における利便性の向上と周辺住民へのエネルギー提供などについても、

丁寧な説明をもって地域住民との合意形成を進めてまいりたいと考えております。

山梨県南都留郡忍野村との災害相互応援協定締結

本町においては、杉並区が主体となる自治体間連携事業「自治体スクラム支援会議」に参加するなかで、山梨県南都留郡忍野村との災害時相互応援に関する協定を締結する運びとなり、本年2月7日、忍野村役場において同協定書締結式が挙行されました。

この協定に基づき、大規模災害発生時における相互応援を実施するものであります。

商工・観光振興の状況

1 企業誘致事業の進捗状況

差田地区産業拠点推進区域における企業誘致事業の進展等については、地区住民との連携を図りながら、事業を推進してまいりました。

このようななかで、株式会社タカラゲンと、本年2月20日付けをもって当該土地売買仮契約を締結するとともに、23日には、差田区民を対象とした事業者説明会が行われました。

2 ふるさと寄附の状況

平成28年12月末現在の寄附件数は9,980件で対前年度比132.4%となり、総額では3億2,187万2,689円で91.1%となっております。

3 台湾訪日教育旅行

平成28年度から本格化した台湾訪日教育旅行の招致に向けた取組みは、本年2月の台中市立文華高級中等学校生徒及び引率者69人による来町をもって、所期の成果を挙げることができました。

観光施設等の入込状況（4月～12月）

区分	平成28年度（人）	平成27年度（人）	前年度比（%）
宿泊施設	160,644	160,596	100.0
観光施設	95,795	102,493	93.5
温泉施設	74,386	41,294	180.1
合計	330,825	304,383	108.7

行程については、2月3日に富士山静岡空港より入国し、静岡市内のホテルに宿泊、翌4日には、清水港からフェリーで移動するなか、世界遺産の富士山を臨み、町内の「湯宿かぎや」に宿泊いたしました。

翌5日には、石廊崎灯台や弓ヶ浜海岸などを見学後、町内各家庭に分かれホームステイによる交流・親睦を深め、最終日の6日には県立下田高校を訪問し、歓迎会でのパフォーマンス披露や日本茶体験、合同授業等による学校間交流が行われました。

今後も、関係諸団体等との連携を図りながら、さらなる教育旅行事業の推進と受け入れ体制の強化に取組んでまいります。

4 第19回みなみの桜と菜の花まつりイベントなど

2月10日から3月10日まで「道の駅・下賀茂温泉湯の花」をメイン会場に「第19回みなみの桜と菜の花まつり」が開催されております。

12日の菜の花結婚式には、栃木県芳賀郡茂木町在住の中川雅俊様、越前谷結衣様ご夫妻が選ばれ、同席されたご親族や詰め掛けた観光客などから多くの祝福を受けておりました。

また、2月18日には『第1回みちくさ夜桜マラソン in 南伊豆町』が開催され、5km・10km・20kmの各部門に488人が参加し、ライトアップされた桜並木の特設コースを駆け抜けました。

5 観光施設等の入込状況

平成28年4月から12までの観光施設等の入込み状況について、分野別では、主要観光施設で95,795人と前年度比93.5%、宿泊施設は前年並みとなり、町営温泉施設では74,386人で180.1%と主要観光施設のみ前年度割れとなっております。



わが国は、深刻な人口減少・少子高齢化問題に直面しており、現在の状況が改善されなければ、人口は2060年に約8,700万人、高齢化率は約40%と実に2.5人に1人が高齢者となる超高齢社会を迎えます。

社会保障費の増大や一斉に更新時期を迎える各種社会インフラの維持など、未経験の課題等が同時に押し寄せるこの時代と社会のなかで、国では「地方創生」や「一億総活躍社会」の旗印を掲げ、地方自治体が多様な主体と連携して自分たちの地域に責任を持ち、将来を見据えた対応を図ることを求めております。

私は、就任以来一貫して町民参加型町政の推進に重きを置き「持続可能な南伊豆町」の実現に向けて町政運営に取組んでまいりましたが、福祉や防災など、生活に密着した分野における地域コミュニティを枠組みとした課題解決への取組みをはじめ、経済産業省のエネルギー政策に合致するエネルギーの地域自給に向けた再生可能エネルギー導入促進の取組みなどは、地域が自らの地域のあり方を自分の事として捉え、課題の解決に積極的に取組んでいる事例であり、本町の持つ町民力の高さをうかがい知るものであります。

平成29年度は、実を結びつつあるこれまでの取組みをより一層加速させるとともに、自治体を取り巻く環境を的確に捉えながら、開かれた町政の推進と町民の負託に応えるべく、職員の資質向上及び行政組織の体制

3月定例町議会 平成29年度 施政方針（要旨）

整備についても推進してまいります。「21世紀、わたしたちの住むまち、あなたと造るまち」を基本理念に掲げた取組みの表れとして、再生可能エネルギーにおける地熱資源の理解促進事業、吉祥及び石廊崎町有地の有効活用のほか、健康福祉センター建設整備におけるワークショップ、人口ビジョン・総合戦略の策定に向けた百人委員会の設置などが挙げられます。多くの町民の皆様方に昼夜を問わずに参画をいただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

次に、具体的な施策について申し上げます。

石廊崎オーシャンパークの施設整備

平成28年9月に設置した、南伊豆町石廊崎町有地管理検討委員会からの答申に基づき、石廊崎町有地の名称を「石廊崎オーシャンパーク」といたしました。

同委員会では、当該施設及び設備等の適正管理・運営にかかる利用時間や利用料金などを定めた「石廊崎オーシャンパークの設置及び管理に関する条例」の策定にもご尽力をいただいたところであります。

平成28年度現在、主要地方道下田石廊松崎線側からの進入路及び登山道上部の町道改修並びに旧施設解体工事に着手しており、平成31年3月の開園を目指しているところです。

自治体間連携による特別養護老人ホーム

昨年11月から着工した特別養護老人ホーム「(仮称)エクレシア南伊豆」の建築工事は、平成28年度末の工事出来高で約12%の進捗状況となって

おり、平成30年1月の供用開始に向けて順調に推移しております。

また、施設運営等に不可欠となる介護人材の育成・確保、医療体制等の整備においては、開所に向けて着実に進展していることなどから、地域振興はもとより地域経済の活性化においても大きな期待が寄せられているところであります。

(仮称)健康福祉センターの建設整備

平成29年2月の工事入札を経て施工業者が決定したことから、平成30年3月の供用開始に向けて本格的な施設整備に取組んでおります。

当該施設は、町民の健康増進と福祉サービスの向上に資する施設として極めて重要な役割を担うものであることから、本町保健福祉行政の拠点に相応しい環境整備、施設機能等の充実に努めてまいります。

自然再生可能エネルギー（地熱資源等の活用）

平成22年の「緑の分権改革」から端を発した新エネルギー利活用の取組みは、平成26年度、平成27年度の地熱開発理解促進関連事業及び地熱資源開発調査事業へと引き継がれ、平成28年度冒頭には、南野山の深部に熱源の存在が示唆されました。

再生可能エネルギーの利活用は、経済産業省の資源エネルギー庁による主要施策として掲げられ、南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、南伊豆シゴトづくりプロジェクトとして再生可能エネルギーによる地域経済循環事業を位置づけていることから、地熱発電の適・否における熱源調査は必須要件

であることは申すまでもありません。

また、荒廃森林の整備や里山の環境保全に直結するバイオマス発電事業者等の招聘にも積極的に取組むことで、波及効果として有害鳥獣被害の軽減も見込まれることから、地熱・バイオマス等のエネルギー・ミックスによる新たな雇用創出、地域産業の活性化を目指してまいります。

生涯活躍のまちプロジェクト (南伊豆町版CCRC※1推進事業)

南伊豆町人口ビジョン、南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、「南伊豆町が持つ環境を生かして生涯健康で元気に暮らせる地域社会を創出し、アクティビティニア※2層の転入を増やし、後期高齢者の転出を抑える」とする基本目標を掲げ、健康創造型生涯活躍のまちプロジェクトにおける具体的な事業として「南伊豆町版CCRC事業及びアクティビティニアのお試し移住・ヘルスアップステイ事業」を位置づけております。これらの事業は、東京都杉並区との連携に基づくもので、内閣府所管の地方創生本部における総合戦略においても先駆的モデルケースとして取り上げられるなど注目をいただいております。

当該プロジェクトでは、拠点エリア整備に伴う共立湊病院跡地の土地取得が必須となることから、平成29年度に用地確保を完了し、学びの場及び交流の場となる交流拠点のほか、東京圏のアクティビティニア向け住宅を整備するもので、身の丈に合った予算規模をもって官民連携による適切な役割分担を想定したものとなるよう計画されております。

南伊豆を未来へつなぐ 森里川海プロジェクト

本町が有する恵み豊かな自然環境は、地方創生事業の基盤を成すものであることから、南伊豆町人口ビジョン、同総合戦略のサブタイトルとして「海・川・山・里を資本とし

て、ひとがつむぐ、伊豆の先端で輝く南伊豆のミライ」を掲げており、昨年12月には、副町長を本部長とする「南伊豆を未来へつなぐ森里川海プロジェクト」を設立いたしました。

この取組みは、環境省が進める国民運動「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」と連動するもので、同省のモデル地区指定も視野に入れながら事業化を目指すなかで、町民の皆様と一緒に本町の森里川海を豊かに保ち、その恵みを最大限に引出し支える地域づくりを推進することで、地方創生の実現に欠かすことのできない基礎的資源の維持・存続に取組んでまいります。

光通信網の整備

情報通信回線の高度化は、住民ニーズはもとより移住・定住、企業誘致施策においても極めて重要とされる社会インフラであることは申すまでもありません。

このため本町では、NTT西日本株式会社を事業者に決定し、初期投資への補助金制度を創設したなかで、町内62及び一部63局を対象とした光通信網の整備促進に取組んでまいりました。

平成29年度からの本格的な運用を踏まえて、町有施設への接続を推進するとともに、観光、福祉、教育分野のICT促進のほか、移住・定住、サテライトオフィスなど、企業誘致施策における有効な手段として、地域産業の振興・活性化に努めてまいります。

商工・観光の振興 (インバウンド事業※3)

日本政府観光局が発表した2016年の外国人観光客数は、年間約2,400万人とされ、年々増加傾向にあることなどから、富士山静岡空港、富士山、駿河湾航路の県道223号、石廊崎オーシャンパークなどをキーワードとする、インバウンドに特化した環境整備が急務とされるところであり

ます。このため、平成29年度から本格稼働する、光通信網を活用した宿泊施設等への公衆無線LAN整備や多言語表示事業等への助成制度を創設するなど、さらなる受入体制の強化及び環境整備の充実に取組んでまいります。

また、本年2月の台湾訪日教育旅行における全町的な取組みは、今後のインバウンド事業における先進的な試みとして高く評価されるものであることから、次世代を担う子どもたちの訪台事業等を推進するとともに、教育・文化的な交流を拡大し、実効性のある誘客施策の展開に注力してまいります。

津波・防災のまちづくり

静岡県では、第4次地震被害想定に基づく「地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定したなかで、想定される犠牲者数を今後10年間で8割減少させる「静岡モデル」を掲げ、当該市町に津波対策地区協議会を設置いたしました。

本町では、4地区で地区協議会が設立され、住民総意に基づく津波対策を目指すとともに、本年3月末を目途に各協議会による整備方針等が決定される予定となっております。

また、本年1月末に完成した三坂地区防災センターは、三坂地区住民及び滞留観光客にも対応可能な機能を有することから、広域避難に相応しい防災拠点施設となりました。平常時の運用においては、防災研修や各種地域振興事業等においても広く利活用できることから、三坂地区振興協議会との連携のもと地域活性化に寄与する管理運営に努めてまいります。

※1 CCRC…Continuing Care Retirement Communityの頭文字を用いたもので、健常時にある地域に移り住み、その地域で健康でアクティブな生活を送ること

※2 アクティビティニア…団塊世代を中心には、年齢に関係なく仕事や趣味に意欲的に行動する人々

※3 外国人旅行者を誘致すること

平成29年度 当初予算

「持続可能な南伊豆町」の実現に向けて

平成29年度南伊豆町当初予算が、3月定例議会で可決されました。予算編成にあたりましては、第5次南伊豆町総合計画におけるまちづくりの主要課題を踏まえつつ、基本構想・基本計画に掲げる各種目標・政策を着実に推進するものであり、地域を経営するという発想のもと「地域力」の強化に努めるとともに、

- 1 人や企業に選ばれるまち
 - 2 だれもが住みたくなるまち
 - 3 大切な人に住んで欲しいまち
 - 4 情報を発信し続けることができるまち
 - 5 住民（あなた）と共に創るまち
 - 6 地域経営において、自己の意思と責任を持った新たな挑戦（施策）を先導する人材を育てるまち
- を念頭に、「持続可能な南伊豆町」の実現を目指すもの

です。

限られた財源のなかで、第5次南伊豆町総合計画の総仕上げに向けた着実な遂行に加え、これまでの施策・事業の進捗状況を的確に捉え、P D C Aサイクル等の業務管理手法や、K P I（重要業績評価指標）を踏まえたなかで、今後の施策展開に反映させることが極めて重要となります。

具体的な施策・事業等については、第5次南伊豆町総合計画、南伊豆町過疎地域自立促進計画を基本とし、南伊豆町人口ビジョン及び南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性を図るとともに、多様化・高度化する住民ニーズや自治体を取り巻く環境等を的確に把握し、事業効果と優先順位に配慮し適切な予算配分に努めたところです。

一般会計 歳入 57億8,100万円

自主財源 35.2%

地方公共団体が自動的に収入できる財源

依存財源 64.8%

国や県に頼り、定められた額を交付される財源

町税 8億7,227万3千円

町民の皆さんに納めていただく税金。
町民税、固定資産税など

繰入金 5億294万1千円

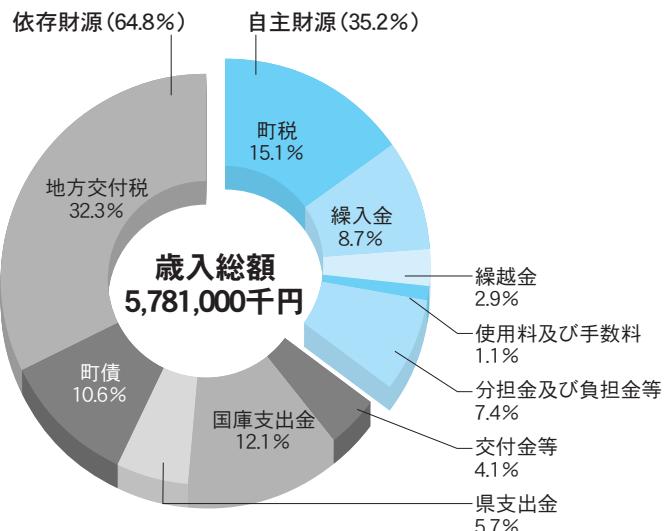
各種基金（貯金）から繰り入れたお金

繰越金 1億7,000万円

平成27年度剩余金の繰り越し

使用料、手数料 6,127万4千円

保育料、町の施設の使用料、証明手数料など



県支出金 3億2,909万6千円

町が行う特定の事業に対して県から交付されるお金

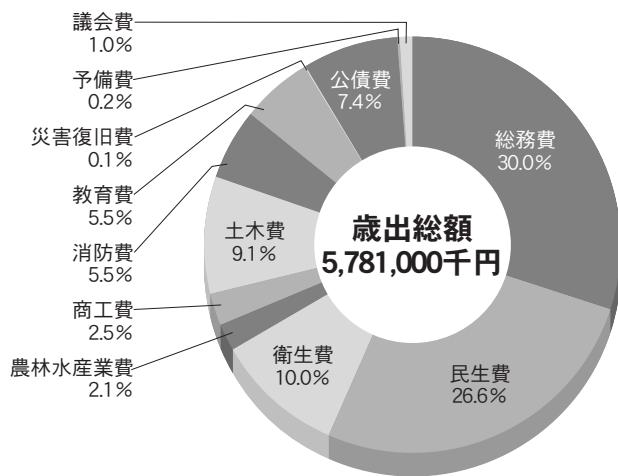
町債 6億1,490万円

町の借金。大規模な事業を行うため国などから借りるお金

地方交付税 18億7,000万円

町が標準的な仕事をする際に不足する財源を補てんするため国から交付されるお金

一般会計 歳出 57億8,100万円



主な事業

- ジャングルパーク跡地内温室等解体工事 1億3,400万円
- 健康福祉センター等建設工事 2億6,000万円
- 地熱資源開発調査業務委託料 4億円など

議会費 5,995万8千円

議員報酬や議会の運営経費など

農林水産業費 1億1,921万4千円

農業・林業の振興、緑化推進事業の経費など

教育費 3億1,510万5千円

小中学校の管理運営費、生涯学習などの費用、図書館の運営費など

総務費 17億3,522万2千円

行政全般の事務に関する経費、企画調整、財産管理経費など

商工費 1億4,219万4千円

商工業、観光業の振興に関する経費など

災害復旧費 307万円

災害による復旧費用

民生費 15億3,598万6千円

高齢者、心身障害、母子などの福祉事業や子育て支援の経費など

土木費 5億2,799万8千円

道路・河川などの改良事業や維持管理、都市計画、下水道事業特別会計への繰り出しなど

公債費 4億3,055万9千円

事業を行うために借りたお金(町債)の元金・利子の償還費用など

衛生費 5億8,087万円1千円

住民検診などの健康管理、ごみ焼却の運営管理経費など

消防費 3億2,082万3千円

消防組合および消防団の経費や防災対策経費など

予備費 1,000万万円

予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための費用

特別会計予算

37億5,765万7千円

国民健康保険特別会計	18億6,278万円
介護保険特別会計	11億2,674万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億1,622万円
南上財産区特別会計	23万5千円
南崎財産区特別会計	42万5千円
三坂財産区特別会計	776万7千円
土地取得特別会計	1億6,000万1千円
指導主事共同設置事業特別会計	3,192万円
公共下水道事業特別会計	3億4,847万8千円
子浦漁業集落排水事業特別会計	7,643万7千円
中木漁業集落排水事業特別会計	858万4千円
妻良漁業集落排水事業特別会計	1,806万3千円

企業会計予算

6億1,769万1千円

水道事業会計	6億1,769万1千円
--------	-------------

用語の解説

一般会計

町税および国や県からの補助金などを主な財源とし、行政運営の基本となる会計で、町が行う事業の大部分を占めます。

特別会計

特定の事業を行うための会計で、主として保険料、使用料や一般会計繰入金などの収入で賄います。

企業会計

公共の利益を目的にして経営する事業で、独立採算型の会計です。

共立湊病院跡地の活用と 南伊豆町生涯活躍のまち事業（構想）

写真：昭和の湊地区の様子

共立湊病院の沿革

共立湊病院は、大正12年に「湊海軍病院」として開院し、昭和20年12月に厚生省に移管され、「国立湊病院」として一般に開放されました。

その後、国の結核対策の一環として、「国立療養所湊病院」となり、昭和42年4月に再び「国立湊病院」として運営されてきましたが、国立病院再編の動きから、平成9年4月に賀茂地域7市町村（下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町・賀茂村）で共立湊病院組合を設立し、同年10月に国からの経営移譲を受け、その後は、「共立湊病院」として引き続き賀茂地域の医療を支え、平成24年4月末をもって閉

院しました。

また、昭和22年4月から附属の看護婦養成所（昭和26年4月からは准看護学院）を併設し、昭和41年度末に廃止となるまでの期間、地域の医療を人的に支える看護師および准看護師の養成に貢献してきました。

平成24年5月からは、病院の拠点を下田市内に移すとともに、賀茂地域6市町（賀茂村の合併により西伊豆町となったことによる。）で構成された共立湊病院組合も下田市を拠点とし、下田市長が管理者を務める「一部事務組合下田メディカルセンター」に移行されました。

共立湊病院を引き継ぐかたちで下田市に新たに建設された病院は、指

定管理者として医療法人社団静岡メディカルアライアンスを指定し、賀茂地域唯一の公立病院である下田メディカルセンターを拠点として、しらはまクリニック、みなとクリニック、介護老人保健施設なぎさ園を運営するなど、引き続き賀茂地域の医療を支えています。

病院の移転を受けて

一方、閉院により使用されなくなった旧共立湊病院施設は、再三の南伊豆町からの申し出にもかかわらず、荒れた状態のまま放置され、町内最大の観光地「弓ヶ浜」の玄関口としての景観を損なうばかりでなく、地域の安全性の面からも大きな問題となっていました。

旧病院本体建物は、耐震性の問題から再利用が困難なうえに、解体には数億円の費用が必要となります。また、国立公園第2種特別地域内にある同所は、開発には不向きで、建物解体後の土地売却も困難とみられ、一部事務組合下田メディカルセンターを構成する市町の考え方が始まらず、やむを得ず現状で保存していくしかなかったといえます。

移転当初から南伊豆町は、施設解体による景観改善と安全性の確保を訴えていましたが、一部事務組合下田メディカルセンターには施設を解体するだけの資金力がなく、町の訴えに対する満足な回答を得ることのできない状況が続きました。



▲ 病院初期の建物



▲ 海軍病院当時の施設正門



▲ 旧共立湊病院の建物

共立済病院跡地周辺地域の活用と南伊豆町生涯活躍のまち構想

共立済病院の隣接地には、杉並区の所有する区立南伊豆健康学園がありました。この健康学園も時期を同じくして、平成24年4月に廃止されました。即座に解体が実施され、同所を活用した特別養護老人ホーム整備案なども検討されましたが、杉並区と町が連携して進める特別養護老人ホームの整備と町の健康福祉センターとを合同で整備することで相乗的な効果が期待できることから、旧中央公民館の跡地を活用する形で

事業化され、平成30年1月の開設を目指して建設工事が進められています。

杉並区との自治体間連携という新たな手法により全国初となる特別養護老人ホームの整備は、都市部の高齢者問題の一つの解決策として、また、古くからの交流に基づく都市と地方の新たな連携の仕組みとして全国的に注目される事業として進められていますが、この取り組みを進めていくうえでの一つの課題として、介護が必要となっても住み慣れた地域で生活することができる仕組みづくりがありました。また、南伊豆町の人口減少問題を解決する一つの取り組みとして、移住を促進してきた

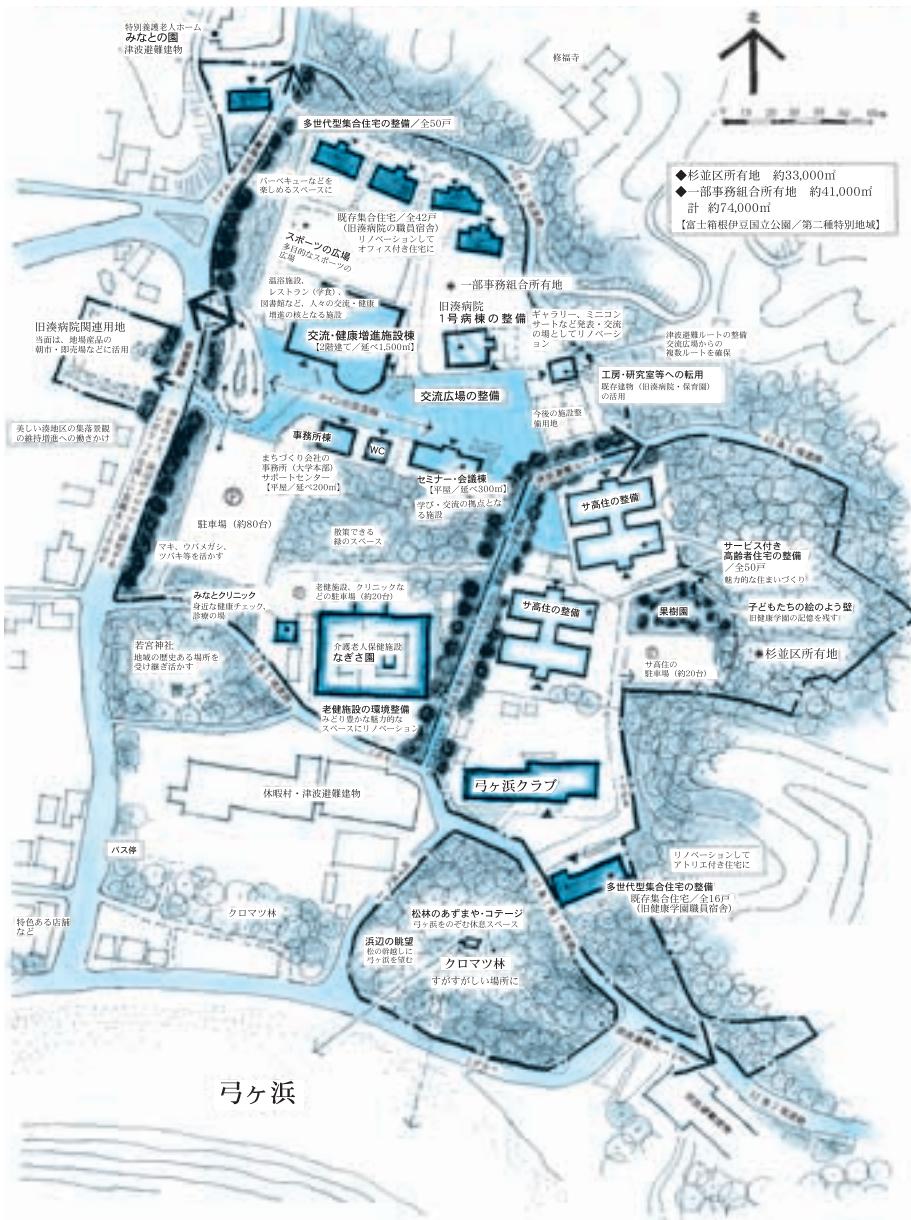
経緯から、アクティビシニアの移住（お試し移住）に取り組むこととし、この施策についても杉並区と連携していくことで特別養護老人ホームの整備にかかる課題への対応や、南伊豆町の人口減少問題に効果をもたらすものと考えられます。そして、これらの取り組みは、国が進めていた「生涯活躍のまち」の特徴的な事例として国にも評価されることとなり、更に発展させていく中で、共立済病院跡地や南伊豆健康学園跡地を一体的に活用し、南伊豆町版の生涯活躍のまち事業の拠点施設を整備していく構想をもって、町が共立済病院跡地を購入する案を提示し、協議の結果、一部事務組合下田メディカルセンターが施設を解体し、その後南伊豆町が同地を取得する方向で動き出しました。

この方針の基礎となった「南伊豆町生涯活躍のまち基本計画」では、共立済病院跡地を活用し、都市部のアクティビシニアを中心とした100戸規模の住居整備を基本とする計画でしたが、事業の推進に向けて協議していく中で、町民全体が元気で生涯にわたって活躍できる仕組みを作り、拠点とする共立済病院跡地には学びや仕事づくりを基本とした交流施設、多世代を対象とした住居やオフィススペースなどを整備していく構想に発展しており、今後は交流施設を中心とした拠点整備の方針や、海軍病院当時から残る木造の第一病棟の保存の可能性についても町民の皆さまとの協議の場を設けています。

なお、生涯活躍のまちを作り上げる要素となる生涯学習についても、町民の皆さまが、先生や生徒として主体的に活躍していただけるような仕組みづくりをしていくため、多くのご意見をお伺いしていくこととしていますので、生涯活躍のまちづくりへのご協力をよろしくお願いします。

問合せ 企画課 地方創生室
☎ 62-1121

南伊豆町生涯活躍のまち拠点のイメージ



4月30日(日)は 南伊豆町長選挙投票日

❖投票できる方

今回の南伊豆町長選挙に投票できる方は、平成11年5月1日以前に生まれた方であって、投票日現在で引き続き3か月以上南伊豆町に居住している方です(転入した場合は、平成29年1月24日以前に転入届を提出している必要があります)。このため、平成29年1月25日以後に他市町から転入された方や、投票日までに他市町へ転出された方は投票できませんのでご注意ください。

❖当日投票時間は午後6時まで

4月30日(日)の投票時間は、午前7時から午後6時までです。

選挙管理委員会から送付される入場券を持って、入場券に記載された投票所で投票してください。

❖期日前投票は4月26日から

投票日に仕事や旅行、出産予定などで投票できない方のために「期日前投票制度」があります。

期日前投票のできる期間は、4月26日(水)から4月29日(土)までの4日間です。

投票場所は、役場1階の多目的室で、投票時間は期間中の午前8時30分から午後8時までです。

なお、今回の選挙も期日前移動投票所を設ける予定ですが、当日投票所になっていない箇所で、立候補者のいない地区に設けることとなっています。

決まりましたら別途お知らせします。

❖投票所は町内8か所

投票所は、以下の8か所です。

❖不在者投票施設での投票

選挙の告示日（平成29年4月25日）に入院または入所中で、投票日においても引き続き入院または入所していると見込まれ、病院または施設から外出することが困難な方は、入院または入所中の施設において不在者投票をすることができます。

ただし、この不在者投票は、静岡県選挙管理委員会の指定を受けた病院または施設でなければ行うことはできません。指定の有無については、入院または入所中の施設が南伊豆町選挙管理委員会にお問い合わせください。

❖郵送での不在者投票請求について

仕事先や旅行先など滞在地の市区町村選挙管理委員会でも不在者投票ができます。希望される方は、役場ホームページから「宣誓書兼不在者投票用紙交付請求書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、南伊豆町選挙管理委員会までご提出ください。なお、不在者投票は投票日当日の午後6時までに南伊豆町選挙管理委員会に届くように投票してください。

❖選挙公報について

立候補者の氏名、経歴、政見、写真等を掲載した選挙公報を発行します。4月26日以降の新聞折込みまたは投票所にてご覧ください。

❖入場券は4月19日に発送します

選挙管理委員会では、4月19日(水)に入場券を発送する予定です。

問合せ

南伊豆町選挙管理委員会

☎ 62-6211

平成29年度 町の組織案内

開庁時間 8：30～17：15

※土日祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は、特別な業務を除き、業務を行っていません。

総務課	総務係	町長秘書、行政、選挙、人事、条例、行政協力員、情報公開、行財政改革、町長会事務局、庁舎管理 等
	財政係	予算・決算、公会計改革、入札・契約、入札参加申請、工事検査、財産管理 等
	防災係	防災、消防、交通安全、自衛隊、暴力追放、防犯 等
		☎ 62-6211 ☐ soumu@town.minamiizu.shizuoka.jp

町民課	課税係	町民税、法人町民税、軽自動車税、国保税、入湯税、固定資産税 等
	納税係	町税徴収、滞納処分 等
	住民年金係	戸籍、住民票、印鑑証明、火葬許可、人権相談、国民年金、旅券事務 等
		☎ 62-6222 ☐ cyoumin@town.minamiizu.shizuoka.jp

※受付業務、住民票等諸証明発行交付業務、住所・保険年金異動受付業務を㈱フューチャーイン静岡支店に委託しています。

企画課	企画係	地熱、石廊崎再開発、半島振興、新エネルギー、コミュニティ、バス対策、国土・土地利用、広域連携 等
	情報政策係	広報・公聴、統計調査、消費者行政、基幹情報電算業務、光通信、タウンブロモーション 等
		☎ 62-6288 ☐ kikakuc@town.minamiizu.shizuoka.jp

地方創生室	地方創生係	地方創生、C C R C、総合計画、過疎・辺地、移住定住、地域おこし事業 等
		☎ 62-1121 ☐ sousei@town.minamiizu.shizuoka.jp

商工観光課	観光推進係	観光、町営温泉施設・道の駅の管理、観光施設整備事業、ジオパーク、緑化 等
	商工振興係	商工、ふるさと寄附、企業誘致（町有地利活用、内陸フロンティア）等
		☎ 62-6300 ☐ shoukou@town.minamiizu.shizuoka.jp

地域整備課	公共管理係	公共土木施設管理、占用、境界立会、都市計画、建築確認、自然公園法、町営住宅 等
	建設整備係	公共土木、港湾・漁港・農林施設設計施工管理、災害復旧事業、急傾斜 等
	農林水産振興係	農林水産振興、松くい虫、鳥獣保護、有害鳥獣対策、治山、農業委員会、水田転作、地籍調査 等
		☎ 62-6277 ☐ tseibi@town.minamiizu.shizuoka.jp

教育委員会	社会教育係	社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、芸術文化、青少年健全育成、男女共同参画、図書館関係 等
	学校教育係	学校教育、学校施設整備、学校給食、学校会計庶務 等
		☎ 62-0604 ☐ kyoin@town.minamiizu.shizuoka.jp

※学校給食調理業務および図書館業務は、4月1日からシダックス大新東ヒューマンサービス㈱静岡営業所に委託となりました。

健康福祉課	国民健康保険係	国民健康保険（給付）、後期高齢者医療保険、特定健診 等
	健康増進係	予防接種、健康増進事業（各種がん検診、健康教育、健康相談）、保健協力委員、母子・歯科・精神保健、患者輸送バス 等
	子育て支援係	認定こども園事務（入所・料金・施設管理、職員管理）、母子・こども医療、児童手当 等
	福祉介護保険係	介護保険、健康福祉センター（建設）、民生児童委員、老人・障害福祉、生活保護、災害救助、日赤・共同募金、臨時福祉給付金 等
	地域包括支援センター	介護予防事業、介護予防給付、高齢者総合相談、権利擁護事業 等
		☎ 62-6233 ☐ kenfuku@town.minamiizu.shizuoka.jp

生活環境課	水道係	企業会計、上水道・簡易水道施設の維持管理、水道工事の設計・施工管理、水質検査 等
	下水道係	下水道工事、クリーンセンター等施設の維持管理、漁業集落排水施設管理 等
	生活環境係	環境、公害、生活排水監視、犬の登録、ごみ処理・収集事務、ごみ処理施設広域化 等
		☎ 62-6270 ☐ seikatsuk@town.minamiizu.shizuoka.jp

※検針、水道料金、下水道料金および畜犬手数料の徴収を、㈱フューチャーイン静岡支店に委託しています。

※上下水道施設の管理業務、清掃センター運転管理業務および一般廃棄物ごみ処理手数料（持込手数料）の徴収業務を、㈱ウォーターエージェンシー南伊豆管理所に委託しています。

会計室	会計係	町公金の収納・支払い、県収入証紙の売捌 等
		☎ 62-6220 ☐ kaikei@town.minamiizu.shizuoka.jp

議会事務局		議会、監査事務 等
		☎ 62-6240 ☐ gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp

旅館業、製造業、農林水産物等販売業、情報サービス業等の皆さんへ

半島地域の税制特例が活用できるようになります



半島地域の税制特例とは、旅館業等を営む事業者（旅館業、製造業、農林水産物等販売業、情報サービス業）が、半島の一定区域内※1で、その事業に使用する機械や建物を取得等※2し、供用した場合に、5年間の割増償却ができる制度です。

この制度は、半島振興法に基づき町が策定した「南伊豆町産業振興促進計画」が国の認定を受け、官報に公示されると、当該事業者が、機械や建物を平成29年4月1日以降に取得等をした場合、計画の開始日にさかのぼって、法人税や所得税の特例措置を受けることができるようになります。

※1 「一定区域内」とは、半島地域に指定されている市町村が策定し、国が認定する

「産業振興促進計画」に記載された地域をいい、南伊豆町の場合、町内全域です。

※2 「取得等」とは、取得、製作または建設をいい、建物およびその附属施設にあつては、改修（増築、改築、修繕または模様替え）のための工事による取得または建設を含みます。

■特例の内容（所得税・法人税）

対象業種	旅館業・製造業			農林水産物等販売業 情報サービス業等
	個人、資本金1,000万円以下法人	資本金1,000万円超5,000万円以下法人	資本金5,000万円超法人	
取得価格	500万円以上の機械等※3の取得等	1,000万円以上の機械等の取得等	2,000万円以上の機械等の新增設	500万円以上の機械等の取得等（資本金5,000万円超の場合は、新增設）
償却率	機械・装置……普通償却限度額の32% 建物・附属設備、構築物……普通償却限度額の48%			
償却期間	5年			
留意事項	・産業振興促進計画の開始日（平成29年4月1日）以降の機械等の取得等が対象 ・特例措置を受けるためには町長の確認が必要			

※3「機械等」とは、機械・装置、建物・附属設備、構築物をいいます。

■対象業務

旅館業	○ホテル営業	○旅館営業 等
製造業	○木材・木製品製造 ○食料品製造	○石油製品・石炭製品製造 ○金属製品製造 等
農林水産物等販売業	○酒小売業 ○野菜・果実小売業 ○水産食料品製造業	○農畜産物・水産物卸売業 ○畜産食料品製造業 ○パン・菓子製造業 等
情報サービス業等	○情報サービス業 ○有線放送業	○インターネット附随サービス業 ○コールセンター業 等

割増償却の効果

通常の償却額に加え、割増償却額を経費に算入することができるため、所得税額・法人税額を軽減することができます。

町産業振興促進計画が国の認定を受けた時は、改めてホームページにてお知らせします。

問合せ 企画課 企画係
☎ 62-6288

子宮頸がん検診を 受けましょう

検診車による集団検診と、医療機関での個別検診を実施します。
2年に一度は必ず検診を受けましょう。



	集団検診	個別検診
日時	5月26日（金）12:00～15:00（70人程度） 5月27日（土）8:45～11:45（70人程度）	5月8日（月）～7月14日（金）
場所	役場 多目的室 ※検診自体は検診車で行います。	下田メディカルセンター、臼井医院、 小川クリニック、伊豆今井浜病院
負担金	町国民健康保険加入者、70歳以上の方…無料 上記以外の方…1,200円	町国民健康保険加入者、70歳以上の方…無料 上記以外の方…1,700円
対象者	20歳以上で偶数年齢の方（基準日：平成30年3月31日）	
その他	20～40歳の方、町の検診を希望している方については、個別通知を送付しています。 対象年齢で問診票が届かず、受診を希望される方はご連絡ください。	

問合せ 健康福祉課 健康増進係 ☎ 62-6233

三島年金事務所の 出張年金相談が予約制 になります



今年度から、「三島年金事務所出張年金相談」が予約制になります。
利用する方は、町民課まで事前に予約をしてください。

■ 相談日時

6月15日（木）、9月14日（木）、
12月12日（火）、平成30年3月15日（木）
9:30～11:30、13:00～14:00
(30分間隔で予約を受け付けます。)

■ 場所

南伊豆郷土館

■ 持ち物

年金手帳、本人確認書類（運転免許証など）、
印鑑

■ 予約方法

お電話でお申込みください。
* お名前、生年月日、ご住所、基礎年金番号、相
談内容を確認させていただきます。

■ 注意事項

* 定員になり次第、締め切らせていただきますの
でご了承ください。
* 代理の方が相談する場合、委任状、相談対象者
の年金番号がわかるもの、代理人の本人確認書
類が必要です。

問合せ 町民課 住民年金係 ☎ 62-6222

梅本町長のミニ集会

【手石老人会】

町長が、町民の皆さまのところに出向いて、まちづくりに資するための提言・提案等をお伺いする「ミニ集会」を開催しています。皆さまからいただいたご提言・提案等の一部をご紹介します。

- 意見**
- 国立公園指定地区は、木が生い茂っていて木を切ることができないため、困っている。

- 回答**
- 危険性について具体的な話があり、過去と現在の写真等参考資料等がありましたら、担当課と環境省および関係機関と協議し、対応を検討します。

- 意見**
- 町内の猪、鹿被害が多いが、町で対策を何かしているか。

- 回答**
- 有害鳥獣駆除に対する報償金の他、農作物被害防止のためのワイヤーメッシュ、電気柵設置に対する補助制度がありますので、ご活用ください。

- 意見**
- 手石地区にある圃場に、太陽光ソーラーを設置してはどうか。

- 回答**
- 該当地区は農業振興地域および農地法などの規制により、ソーラーパネルの設置は難しいと思われますが、圃場整備後、相当の年数を経た農業振興地域の解除等については、今後も国への交渉を継続していく予定です。

- 意見**
- 青野大師ダムは、どこが何のために建設したのか。

- 回答**
- 県が洪水調整、流水の正常な機能の維持、水道用水の確保を目的として建設した多目的ダムです。

受付中 梅本町長のいつでもどこでもミニ集会

対象者 原則として町内にお住まいで、2人以上のグループ

申込方法 開催する2週間前までに総務課まで申し込みを行ってください。

開催場所 どこへでも出向きます。(自宅や公民館など)

注意事項

- ①皆さまの希望日時に合わせて日程調整をしますが、職務等の都合上、ご希望に添えない場合もあります。
- ②まちづくりに資するための提言・提案等を受けるものであるため、要望はご遠慮願います。
- ③内容によっては、その場で回答できない場合もあります。
- ④申込内容によっては、ミニ集会をお断りする場合もあります。

申込み 総務課 総務係 ☎ 62-6211
問合せ 企画課 情報政策係 ☎ 62-6288

消費生活出前講座で学びませんか

賀茂広域消費生活センターでは、消費生活に関する情報や、消費者被害に遭わないポイントなどを分かりやすくお話しする「出前講座」を無料で開催しています。研修会や会合等の催しに併せて行うこともできますので、ぜひご利用ください。



実施時間 平日 9:00~16:00の間で15分~90分以内

講座内容 惠質商法の手口と対処法、インターネットトラブルの状況、クレジットカード利用上の注意等

受付期間 原則実施希望日の2か月前

申込方法 電話予約した後、申込書を提出してください。(申込書は、町企画課または賀茂広域消費生活センターで配布しています。)

問合せ 賀茂広域消費生活センター ☎ 24-2299

2/26 観光客にも大好評！



地場産品販売の様子

第5回軽トラ市が、役場駐車場で開催されました。会場では、椎茸や苺などの地場産品の販売や、よさこいグループによる華やかな踊りが披露され、多くの人が賑わっていました。

3/10 受賞おめでとうございます



高齢者叙勲を受賞した桑原さん（中央）

湊の桑原敬さんが、高齢者叙勲で瑞宝双光章を受賞、叙勲伝達式が役場で行われました。桑原さんは、昭和29年から平成元年の長きにわたり、学校教育の振興に尽力されました。

3/13 防災センター竣工式



テープカットをする関係者たち

三坂地区防災センターの竣工式が同センターで行われ、完成を祝いました。地域防災の拠点として、避難スペースのほか、調理室や多機能トイレを整備、備蓄倉庫を併設しています。

3/9 春を迎えてコモ外し



コモ外し作業をする作業員たち

12月に奥石廊崎の県道沿いにあるヤシにかけたコモを、春の訪れに合わせて外す作業が行われました。作業員たちは、春を感じながら作業を行っていました。

3/12 日頃の成果をお披露目



三味線の美音を披露する出演者

第22回南伊豆町芸能部門発表会が、役場湯けむりホールで行われました。文化協会加盟団体に南伊豆中学校を加えた計14団体が、日頃の練習の成果を披露し、観客を魅了していました。

3/22 健康福祉センター起工式



起工式で鍬入れをする梅本町長

健康福祉センターの起工式が、加納の町有地で行われました。隣接する特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」（仮称）と同じく、平成30年1月末に竣工予定です。

今月のおすすめ



「老乱」
 久坂部羊著／朝日新聞出版
 在宅医療を知る医師でもある著者によって描かれた認知症と向き合う人々の感動物語。いつか訪れる老いの予習の為に読んでみてはいかがですか。



「失われた地図」
 恩田陸著／KADOKAWA
 現代日本で繰り広げられる、過去から蘇った異形なものとの戦いをテーマとしたファンタジー小説。著者の直木賞受賞後第1作。



「はるみのこねないパン」
 栗原はるみ著／扶桑社
 こねないパンのレシピ本。ボウルに材料を入れて混ぜるだけ。外側パリッ、中はモッチリ、専門店顔負けのパンが簡単に作れます。



「幻庵 上・下」
 百田尚樹著／文藝春秋
 江戸時代を舞台にした団碁小説。幕末前夜、古今無双の団碁名人を目指す少年と、その前に立ちはだかる天才たちとの勝負の行く末は・・・



「しんせかい」
 山下澄人著／新潮社
 芥川賞受賞作。気鋭作家が自らの原点と初めて向き合い、記憶の痛みに貫かれながら綴った渾身作。



「サーベル警視庁」
 今野敏著／角川春樹事務所
 明治38年7月。国民が日露戦争の行方を見守るなか、警視庁第一部第一課の電話のベルが鳴った。警察小説の第一人者が、初の明治警察に挑む。



「わたくしたちの旅のかたち」
 兼高かおる・曾野綾子著／秀和システム
 書かれているのは“わたくしたち”的旅であって、けっして読者の旅ではありません。気付けてください。“かたち”にハマっちゃダメですよ。



「世界の天空の城」
 アフロ・水野久美著／青幻舎
 竹田城跡、マチュピチュ、サンレオ城砦等、栄枯盛衰の歴史物語に迷い込んだかのような幻想的な世界各国の「天空の城」を紹介。



「親野智可等の自分で考える力がつく作文教室」
 親野智可等監修／宝島社
 夏休み時期になると「作文なんてイヤだあ」と泣き叫ぶ子供で街は溢れ、あまりの雰囲気が漂います。そんな状況を打破する一冊。作文は怖くない。



「細胞が自分を食べる オートファジーの謎」
 水島昇著／PHP研究所
 オートファジーって、細胞内を掃除して、中身を入れ替える重要な働きをしてるんだって。ふーん、よく分かんないけど、ありがとう、不思議なヤツ。

－新着図書案内－

- | | |
|----------------|--------------|
| で、ほんとはどうしたいの？ | 岡田 哲也 |
| 泥があるから、花は咲く | 青山 俊董 |
| ギリシア人の物語2 | 塩野 七生 |
| ルポ トランプ王国 | 金成 隆一 |
| 介護殺人 | 毎日新聞大阪社会部取材班 |
| アクティブ・ラーニングが絶対 | |
| 成功する！小・中学校の家庭学 | |
| 習アイデアブック | 田中 博之 |
| 全ての病気は「口の中」から！ | 森永 宏喜 |
| 1分間瞑想法 | 吉田 昌生 |
| 家事は、すぐやる！ | マキ |
| 白洲正子のおしゃれ | 白洲正子・牧山桂子 |
| 銀の猫 | 朝井まかて |
| サイレンス | 秋吉理香子 |
| 錯迷 | 堂場 瞬一 |
| 花を呑む | あさのあつこ |
| まひるまの星 | 吉永 南央 |

図書館利用案内

利用者カードの交付

はじめて本を借りる時は、登録者カード申込書に必要事項を記入し、免許証や保険証等、氏名や住所を証明するものを提示してください。その場でカードを交付します。

借りるとき・返すとき

本を借りる時は、借りたい本と利用者カードをカウンターへお持ちください。貸出期間は3週間、貸出冊数は制限がありません。返却本はカウンターへ置いてください。休館中・夜間の返却は玄関脇のブックポストをご利用ください。

予約・リクエストについて

貸出中の本を予約することができます。当館に無い場合は、リクエスト用紙に記入し、カウンターへ出してください。できる限りご希望にお応えします。

健康レシピ

鶏ささみのマヨネーズ和え



ここがポイント！



マヨネーズでささみのパサパサ感を防ぐことができます。

▷ 材料／2人分 ◇ (1人分エネルギー147kcal、塩分0.6g)

鶏ささみ	140 g	ピーマン	1 個
酒	小さじ1	マヨネーズ	大さじ1
塩	少々	豆板醤	小さじ1/3
こしょう	少々	油	小さじ1
片栗粉	小さじ1		

▷ 作り方 ◇

- ①ささみは、そぎ切りにして、酒、塩、こしょうを振る。
- ②ピーマンは、種を除き、乱切りにする。
- ③マヨネーズと豆板醤を混ぜる。
- ④油を熱して、片栗粉をまぶしたささみとピーマンを炒め、火が通ったら、③を加えてさっと絡める。

毎月19日は『食育の日』
～「いただきます」から始まる食卓～



なすみかい
南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）
問合せ 健康福祉課 ☎ 62-6233



みなみいづ 探索記



皆さま
ありがとうございました！

あっという間の3年間・・・



南伊豆のおばちゃんはかっこ良くてパワフル！たくさん支えていただきました。



南伊豆で頑張っている人を繋ぎ、若手パワーでも南伊豆を盛り上げていきたいです！

平成26年4月に地域おこし協力隊として南伊豆町に来て、あっという間に3年間が過ぎ、この3月をもって地域おこし協力隊の任期は終了しました。

南伊豆町に来たばかりの頃は、右も左もわからず不安でいっぱいでしたが、担当の三浜地区をはじめ、南伊豆町の皆さんのが温かく迎え、そして支えてくださったおかげで、無事任期を終えることができました。皆さんにご協力いただきながら、隊員として行ってきた3年間の活動が、少しでも南伊豆町の活性化に繋がつていればいいのですが・・・。この3年間の活動を通して、私ができる役割は何かと思った時、人と人・地域資源を繋ぎ、南伊豆町の魅力をひと

りでも多くの人に知らうようにコーディネートし、発信していく事だと思いました。南伊豆の地域コーディネーターとして、今後も南伊豆町の活性化に携わり、この活動を通して、自分自身が定住できるよう、頑張っていきたいです。

また、宿泊施設としてだけでなく、地域の方・観光客等多くの人が交流でき、情報収集できる場としてのゲストハウスを開業することが、南伊豆町に来てからの夢でした。その夢が叶うよう、少しでも町内外の南伊豆町ファンを増やせるよう、地域活性化のお役に立てるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。3年間本当にありがとうございました！

隊員 松原

お知らせ

春の農作業安全運動 実施中

4月1日から5月31日までの2か月間、県内全域で、春の農作業安全運動が行われます。平成27年の全国の農作業中の死亡事故は、前年より12件減少し338件でしたが、依然として高い水準にあり、65歳以上の高齢者が84%を占めています。

県内では、平成27年に7件の死亡事故が発生しており、うち2件は農業機械による事故となっています。

農作業事故の多くが、単純なミスによるものであり、十分注意することで防ぐことができます。基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つ一つ取り除き、農作業事故ゼロを目指しましょう。

【チェックポイント】

- 1 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。
- 2 シートベルトを着用しましょう。
- 3 作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう。
- 4 適正な機械使用を心がけましょう。また、電気柵を設置している場合は、見えやすい場所に危険表示がされているかをもう一度確認しましょう。

問合せ 地域整備課 農林水産振興係

☎ 62-6277

青野川・岩殿 護岸整備 の進捗状況について

岩殿地区では、平成17年度から治水安定のために岩殿堰から小町橋まで約1.1kmの改修事業を行っています。平成28年度は、新諏訪橋上流の護岸150mが完了し、全体で約9割の護岸が整備されました。

引き続き、残りの区間（小町橋まで約170m）の護岸整備を行い、早期完成に努めます。皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

問合せ 下田土木事務所 工事第1課

☎ 24-2114

南伊豆町史 神社・石造物編を発刊

編さんが進められてきた「南伊豆町史資料第2集 神社・石造物編」がこのほど完成し、発刊しました。町内にある神社と祠、石造仏の情報を掲載しています。また、貴重な写真や作成年代、銘文なども併せて掲載しています。「南伊豆町史資料第1集 寺院編」とともに、ぜひお買い求めください。

価格 1冊5,000円

教育委員会（役場2階）にて販売しています。

※郵送（送料着払い）での対応もありますので、下記までご連絡ください。

問合せ 教育委員会 社会教育係

☎ 62-0604



国税専門官採用試験 受験者募集

受験資格

- ①昭和62年4月2日～平成8年4月1日生まれの方
- ②平成8年4月2日以降生まれの方で次に掲げる方
 - ・大学を卒業した方および平成30年3月卒業見込の方
 - ・人事院が上記に掲げる方と同等の資格があると認める方

申込方法 インターネットから申込みください。

※インターネット申込みができない環境にある場合は、問合せ先までご連絡ください。

申込期間 4月12日（水）まで

試験日

第1次試験 6月11日（日）

第2次試験 7月12日（水）～19日（水）のうち指定する日

問合せ 名古屋国税局 人事第二課
試験係☎ 052-951-3511

ひとりで下校するとき が危ない！

平成28年中、下田警察署管内に通報のあった「声かけ事案などの不審者情報」は19件あり、昨年に比べて8件増加しました。

子どもが不審者に声をかけられる時の多くは、1人で下校している時でした。お子さまのいるご家庭は、ランドセルに防犯ブザーを付けたり、いざという時に逃げ込める【こどもをまもる家】の場所を確認しておく等、防犯対策をお願いします。

自分の身を守る合言葉【イカのおすし】

いか 知らない人にはついていかないの 知らない人の車にのらないお 『助けて！』とおおきい声を出すす 怖かったら大人のいる方にすぐ逃げるし どんな人が何をしたか家人にしらせる

地域の皆さまへ

下校時間帯には玄関先や庭先に出たり、買い物やウォーキング、犬の散歩などを下校時間帯に合わせるなど、子どもたちの見守りをお願いします。

問合せ 下田警察署管内防犯協会

☎ 27-2766

「わかふじスポーツ大会」 開催

第18回静岡県障害者スポーツ大会（わかふじスポーツ大会）の出場申込受付を開始します。競技種目は、陸上、水泳、団体球技等の17種目があります。詳しくは、下記スポーツ協会までお問い合わせください。

申込期間 4月10日（月）～5月8日（月）
申込み・問合せ

（公財）静岡県障害者スポーツ協会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内
☎ 054-221-0062
FAX 054-651-2600
✉ s-spokyo@za.tnc.ne.jp

メディカル通信

【かるがも病児保育室】 4月3日運営開始

集団生活をしている乳幼児・学童が、さまざまな感染症にかかり、登園・登校が不可能の時もあります。

当院では、「集団生活は無理だが、自宅安静の必要はない病気の子ども」などを保育する病院併設型「かるがも病児保育室」を、平日のみ運用開始します。

「子育て中も仕事をしたい」「病気時に頼める家族がない」といったご家庭のお手伝いをします。

登録用紙や費用については、当院発行のチラシまたはホームページをご覧ください。



対象者 6か月～10歳の子ども

定員 3人

利用方法

①利用申込用紙に必要事項を記入し、登録申請をする

②利用希望時は前日までに電話予約

③前日からの子どもの状態などを記載した連絡票を持参し、小児科で受診
※希望者は給食(有料)を用意できます。

問 下田メディカルセンター

☎ 25-2525

交 流 自 治 体
だ よ り

東京都杉並区



杉並区の飲食店事業者と南伊豆町の生産者を繋げる

2月20日（月）～21日（火）の

2日間、杉並区の飲食店事業者と南伊豆町の生産者を繋げるためのツアーが開催され、13店舗17人の方々が参加しました。

ツアーでは、南伊豆町内の生産現場を回り、どのような方法で、どのような想いを持って生産しているのか等を生産者から直接聞き、参加者は興味を持っていました。交流会では、南伊豆町の郷土料理や生産者の生産物を使用した料理が提供され、調理方法等を学んだり、活発な意見交換が行われました。

た。

自治体間交流を越え、民と民が繋がる、「自治体PR」だけでなく、「双方の経済効果アップ」、そんな新しい交流のカタチが始まるきっかけになったのではないかでしょうか。

問 杉並区 区民生活部 文化・交流課

☎ 03-3312-2111



4月は、固定資産税税、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。

税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
下賀茂	山本 円	2.10	智之・明世

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
差田	勝田 順子	85	1.31
川合野	山田 勝	93	2.2
中木	山口世志子	70	2.8
中木	山口きん	94	2.13
石廊崎	鈴木ふさ江	90	2.14
大瀬	山崎光司	60	2.16
湊	島田 開	77	2.22
下賀茂	遠藤 敬吾	96	2.23

平成29年2月1日から2月28日までに届出のあったもの（敬称略）

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時にあ申し出ください。

人の動き

(3月1日現在)

世帯数 3,928世帯

人口 8,635人 (-19)

男 4,148人 女 4,487人

----- (2月中) -----

転入 6 転出 16

出生 1 死亡 10



夫が退職したら、地元で農業を始めようとずっとと思っており、4年前に南伊豆町に戻ってきました。両親の手伝いから始まった農業ですが、今では夫婦で楽しく野菜作りをしています。こうして農業ができるのも、両親がやってきたからこそだと思い、ありがとうございます。

自分たちが丹精込めて作った野菜ですが、出荷する際、規格外のものは出荷することができません。捨ててしまうのももったいなく、うまく活用できなかと考えた時、漬け物作りに挑戦しました。

まちの人

南伊豆町から漬け物のヒット商品を！

小島 和代 さん（上小野）

挑戦を始めてからは、漬け物づくりの新たな発見ばかりで、わくわくと充実した毎日を送っています。

こうした活動が認められ、県内の農山漁村の中で、優れた技術や感性をもち、自らの人生を切り拓くために積極的に活動している方々が認定される「ふじのくに農山漁村ときめき女性」に、今年1月に認定されました。

この認定を機に、漬け物の新商品開発に取り組み、町から漬け物のヒット商品を生み出すことを目標に、何事も楽しみながらやりたいと思っています。



子どものむし歯に気を付けましょう

南伊豆町は、子どものむし歯が非常に多い地域です。平成27年度の5歳児歯科調査によると、約44%の子どもがむし歯を経験したことがあり、県内ワースト5位という結果でした。

乳歯のむし歯は、放っておくと永久歯のむし歯や歯並びの悪化につながる可能性があります。

【子どものむし歯予防】

- 1 身近な人からむし歯菌が移るのを防ぐ
(口移しや食器の使いまわしをしない)
 - 2 歯みがきの習慣化と仕上げみがき
 - 3 おやつのあげ方に注意する
 - 4 フッ素を活用する
- お母さんお父さんだけでなく、みんなで子どもをむし歯から守りましょう。

問合せ 健康福祉課 ☎ 62-6233

スマイルキッズ



加納 高橋 龍生くん（1歳6か月）

「歩くの猛特訓中☆
甘えん坊なパワフルボーイ♪」

広報みなみいづ 4月号

編集後記

人事異動により、今月号が最後の広報誌発行となりました。担当となって3年、あっという間でしたが、取材を通じ、多くの方と出会い、そして皆さんのご協力により、毎月、皆さんに無事に広報誌をお届けすることができました。本当にありがとうございました。



広報みなみいづは、再生紙を利用しています。